

2021(令和3)年度活動・事業報告

(2021年4月1日～2022年3月31日)

《8つの柱の活動・事業の振り返り(まとめ)》

第1の柱 ー会員組織の拡大と会員活動を活発に

1. 定期的なボランティア説明会を開催することができ、新入協力会員の増加につながりました。

- (1) 協力会員については年間10人の入会を目指しましたが、今年度は16人の入会となり定期的なボランティア説明会や会員の紹介などの成果が現れました。
- (2) 利用会員は昨年の8割にとどまりました。コロナ感染拡大の中、現有会員の要望には出来るだけ応えるような活動を目指しました。

(3) 入会実績

No.	種別	2020年度 入会数	2021年度 入会数	2020年度 期末在籍数	2021年度 期末在籍数
1	ふれあい会員(利用会員)	14	11	220	183
2	正会員(協力会員)	8	16	112	106
3	賛助会員	0	0	19	17
4	合計	22	27	351	306

2. 緊急事態宣言やまん延防止等重点措置のため
会員活動が十分にできませんでした。

- (1) 毎月の誕生会、恒例の敬老会・新年会、などの会員交流活動は感染拡大防止の観点から中止といたしました。
- (2) 今年度も誕生月に会員を招待して開催していた誕生会はできませんでした。毎月お祝いの誕生カードをお送りし喜んでいただきました。
- (3) 敬老会や新年会は企画からプロジェクトで取り組み参加者も楽しみにしていましたがコロナ感染拡大の影響で残念ながら中止にいたしました。2年に渡って会員の交流ができないことは、利用会員の減少に表れていると思います。
- (4) 会員研修活動として、新入会員研修会、運転者研修会を行いました。

第2の柱-たすけあい活動、運営への会員参加

1. たすけあい活動(有償ボランティア)は、長引くコロナ禍の元、利用者・協力者・活動時間ともに現状維持を目指しました。

- (1)ふれあいサービスは、利用人数は、前年度比 103 %と微増となっています。今年度もコロナの影響は少なからず時間数に現れましたが、ワクチン接種会場への送迎にお応えするなど移動困難な方への支援を実施することができました。生活援助サービスについては昨年度と同程度となっています。
- (2)利用会員入会は、新規協力会員の入会もあり対応できる範囲で増やすことができました。
- (3)デイサービス送迎はボランティア会員の協力でスムーズに行えました。デイサービス利用人数の増加に伴い大型車を導入することができました。

2. 高齢協力会員問題

- (1)ふれあいサービスのうち移動サービスの主力が、75歳～79歳台が全体の 37 %を占め、次世代の担い手に引き継ぐ必要があります。
- (2)移動サービスの定年を迎えた会員が新しい分野での活動により、生きがいを見つけていつまでも元気で活躍できる場の提案ができました。
- (3)ふれあいサービス

種類		2020実績	2021実績	前年対比
利用者数 (人)	移動サービス	501	532	106%
	生活援助サービス	124	112	90%
	合計	625	644	103%
協力者数 (人)	移動サービス	204	176	86%
	生活援助サービス	82	89	109%
	合計	286	265	93%
時間数	移動サービス	2187	2298	111%
	生活援助サービス	438	296	68%
	合計	2625	2594	99%
るんるん送迎(回)		1291	1899	147%

※るんるん送迎の2020年は実績は6月～3月の10か月分です。

※ふれあいサービスは2020年度4月分は休止のため2020年度は11か月分です。

第3の柱 — 制度サービスは包括的視点の強化を図る

- (1) 訪問介護 一月200時間の提供を目標に活動しましたが、昨年実績に到達することができませんでした。現有資格者から少ない時間でも活動できるヘルパーに依頼するなど工夫して取り組みました。
月1回連絡会議を開催でき研修会も定期的に開催できました。
- (2) 居宅介護支援 — ケアマネージャーは下半期に1名の入職があり5名の体制となりました。担当件数では 165件となりました
- (3) ケアマネージャーは、週1回の連絡調整会議を持ち、インフォーマルサービスや、医療との連携がスムーズにできるようになってきました。また、更新研修にも積極的に参加し研鑽を積むことができました。
- (4) (障害福祉) 計画相談支援 — プラン・モニタリング件数146と現行の利用者を基本に支援することができました。
(制度サービス)

種別	提供時間数			利用人数		
	2020実績	2021実績	前年対比	2020実績	2021実績	前年対比
居宅介護支援				1690	1717	102%
訪問介護	1819	1693	93%	292	302	103%
通所介護	1289	1901	147%	182	258	141%
相談支援				468	411	87%
合計	3108	3594	115%	2632	2688	102%

第4の柱 - みんなんちは地域交流の拠点に

1. みんなんち

- (1)今年度もコロナ禍で、活動が思うようにできませんでした。8月～9月、1月～2月末まで休止することになりましたが、待ち望んでくださっていた方々で予約受付日には電話が殺到しています。
- (2)健康麻雀は密を避けるため、午前中のみ2卓までの開催といたしました。
- (3)火・木の週2回の開催ですが、多彩な講座に常連の方に加え、市民センターなどに配架されている「みんなんち日記」を見ての参加者も増えています

講座活動

No.	項目	参加人数
1	習字(月1回)	23
2	うたごえ(月1回)	16
3	ピアノで歌おう(月1回)	63
4	手芸(月1回)	45
5	オカリナ(月1回)	46
6	絵手紙(月1回)	56
7	映画鑑賞(月1回)	32
8	カンタン！スマホ教室(月1回)	19
9	健康麻雀(月1回)	111
	合計	411

2. ぐらしの保健室

- (1)毎月第4木曜日を1日、「まつど暮らしの保健室」オープンデイとし、午前中は PT.(理学療法士)による「カラダのこと個別相談」、午後は認知症当事者や家族などが情報交換できる「認知症家族サポートサロン」を開催しました。
- (2)「認知症家族サポートサロン」は認知症の家族を介護されている方々の居場所として、また認知症の当事者の方も一緒に過ごせるサロンとして定着してきています。
- (3)Mi-project との共同企画、月一企画はコロナの感染拡大により開催できませんでした。

3. 「えがお集まるみんなんち」

- (1)子ども食堂との協働による、「えがお集まるみんなんち」は年々地域の子どもだけでなく、赤ちゃん・子育て中ママパパ・高齢者などが楽しみに集まる多世代交流イベントになっていましたが、コロナ感染拡大のため今年も開催できませんでした。

4. 地域交流の場として、「みんなんち広場」を開催

- (1)1年を通じ、予定していたイベントは開催できませんでしたが、少しコロナ感染の収束の兆しが見え始めた12月に初めての試みとして「みんなんち広場」マルシェとうたごえコンサートを開催しました。
- (2)金ヶ作に移転して4年地域の方々との交流ができ、ふれあいネットまつどを知ってもらいたい機会になりました。

第5の柱 - デイサービスるるんの活動を充実させます

- (1) 緊急事態宣言・まん延防止等重点措置期間も、コロナ感染対策を徹底し1年間ふれあいデイサービスるるんは休むことなくオープンすることができました。
- (2) 運営コンセプトである「利用者も介護者もなんかほっとする居心地の良い」デイサービスを目指し活動することができました。
- (3) 月1回るるんスタッフ・看護師・PTなどが参加する全体会で情報の共有を行いました。
- (4) 1日の利用人数は最多16名となり機の配置を検討しないと安全な移動も厳しい状況です。
- (5) 土曜日の言花は5名となりました。
- (6) 1年間を通じ様々な企画により、利用者が楽しく過ごせることができました。
- (7) 12月からは利用者増にともない大型車両導入し、添乗スタッフとともに送迎できることになりました。
- (8) 常勤の看護師を配置することができました

デイサービス月別利用者数

	営業日	利用者数 延べ人数	行事等
4月	17	149	21世紀の森 ゆいの花公園へお出かけ
5月	17	152	
6月	17	145	るるん1周年記念植樹
7月	18	155	1周年記念祝いの会
8月	16	159	るるん夏祭り おでかけブルーベリーファーム
9月	17	161	避難訓練・彼岸花
10月	18	169	おでかけ 江戸川コスモス畑 テラスモールショッピング
11月	17	175	高次脳自助グループとのオンラインレク 移動デパートで買い物
12月	16	154	クリスマス会
1月	16	156	
2月	16	154	
3月	16	172	移動デパートで買い物
合計	201	1901	

第6の柱 - 教育・研修活動の充実強化を図ります。

1. 福祉有償運送運転者講習会を2回開催しました。

- (1) 今年度は県の「元気シニア活躍サポート事業」の助成事業がありませんでしたが、福祉・介護の人材養成事業として、福祉有償運送運転者講習会を2回開催。19人を養成しました。
- (2) 松戸市福祉有償運送運営協議会の役員に就任し、松戸市福祉有償運送事業に協力することになりました。任期は令和3年4月1日～令和5年3月31日です。

2. 会員を対象に、移動サービス運転者研修会を1回開催しました。

- (1) 毎年、年2回移動サービスにかかわる協力会員対象の運転者研修を行っていましたが、今年は1回のみ開催となりました。
- (2) 今回は講師が同乗しての運転技能確認と高齢者疑似体験を行いました。

第7の柱 - 東日本大震災被災者支援活動

1. 被災者が主体となったサロンの運営が軌道に(宮城県東松島市)

- (1) 宮城県東松島市被災者支援・交流活動として、牛網地区においてコミュニティサロン「東松島みんなんちクラブ」にて、サロン、百歳体操や裂き織り教室、を毎月開催(延べ797人参加)、地域コミュニティ再生に役立つ活動になっています。ふれあいネットまつどからは、運営の協力としてチラシ作成等行いました。
- (2) 今年度はコロナにより他県への移動は控えなくてはならず、事務局・役員の派遣支援はできませんでした。
- (3) 昨年に引き続き、今年度もコロナ感染が落ち着いたら交流できないかと模索しましたが、かないませんでした。

2. 多彩な「東松島みんなんちクラブ」の活動

みんなんちクラブ(サロン活動(毎月第4金曜日))	10回	125名
みんなんちピンポンクラブ(隔週月曜日)	17回	120名
東松島100歳体操(毎週火曜日)	41回	443名
料理教室(不定期)	3回	29名
裂き織(月1回)	10回	60名
日帰りバスツアー(年1回)	1回	11名
多肉植物鑑賞をしよう(年1回)	1回	9名
延べ参加人数		797名

第8の柱 - 役員体制・事務局機能の強化

- (1) 今年度は3名の新規役員を加え、役員体制の強化をはかりました。理事13名、監事2名の体制となりました。うち6名は女性役員です。
- (2) 役員は年間行事を担当制にし、各担当役員がプロジェクトチームとして企画から運営していく体制で進めました。ただし、コロナ感染拡大のためイベント中止となり残念でした。
- (3) 週1回企画会議と月1回のスタッフ会を開催し、事務局の情報共有を図り円滑に業務を進めることができました。
- (4) 懸案であった職員就業規則を現状に合ったもので作成することができた。
- (5) 事務局体制について若手を事務局長、次長に登用し事務局機能の強化をはかりました。

新型コロナウイルス感染対策の取り組み

昨年に引き続き今年度も新型コロナウイルス感染拡大に対しての対策を継続いたしました。

会員・ご家族の皆様へ

1. 「体温測定票」を会員に配布し、毎日朝の体温を測定していただくようお願いしました
2. 検温の結果、送迎等サービス利用日に発熱・咳、くしゃみ、鼻水その他の体調不良の症状がある場合、事務所に連絡を依頼。同居の家族が同様の体調不良の場合 も同様。
3. 送迎時の車両の窓の換気。
4. マスクの着用・手指消毒・車両の消毒等の徹底。

事務局の対策

1. 37℃以上(または平熱より1℃以上高い)場合は自宅待機。
 2. サービス提供に使用する設備及び物品は定期的に消毒。
 3. 事務所の定期的な換気 (CO2 感知器による可視化)
 4. 勤務外においても、自分・大切な人・社会を守るための新しい生活様式の実践
 5. 月1回のPCR検査
-